

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

誰も立てたことのない問いを立てる……ことを、オリジナルな問いと言います。オリジナルな問いには、オリジナルな答えが生まれます。それがオリジナルな研究になります。

ところでオリジナルティとは何でしょうか？

オリジナルティとはすでにある情報の集合に対する距離のことを言います。距離は英語では distance ですが、つまりすでにある知の集合からの遠さ distance を自分の立ち位置 stance というのです。

誰も立てたことのない問いを立てるには、すでに誰がどんな問いを立て、どんな答えを出したかを知らなければなりません。すでにある情報の集合を知識として知っていることを、「教養」とも呼びます。教養がなければ、自分の問いがオリジナルかどうかさえわかりません。ですから、オリジナルであるためには教養が必要なのですが、教養とオリジナルティはしばしば相反することがあります。教養は 1 が、オリジナルティはセンスです。ですから教養とオリジナルティ、どちらが大事？ と言われたら、どちらも大事だけれども、どちらかといえば 2 よりも、3 ほうがまだまし、と言ってきました。なぜなら、オリジナルティのある人はあとから教養を身につける事ができるのに対し、教養のある人が、あとからオリジナルティを身につけるのはむずかしいからです。

情報には一次情報 first hand data と二次情報 second hand data とがあります。一次情報は経験的現実から自分の目と手で得た情報、二次情報は second hand と呼ぶように、いったん他人の手を通じて加工された情報です。セコンドハンドを略して「セコハン」というように、つまり中古情報です。他人の手でいったん加工された情報はすべてセコハン情報です。新聞や雑誌、ブログなどのメディアから得られた情報は、すべてセコハン情報です。

セコハン情報の (ア) シュウゾウ場所が、図書館というところです。研究者は図書館にこもって書物ばかり読む人と思いついでいるひともいるようですが、A それは研究者の一面にすぎません。たしかに図書館を主たるデータ収集の場所にする研究もありますから、それを library survey と呼んでいます。最近ではネット・サーフィンのみでデータ収集をする学生もいるようですが。しかし図書館やウェブの世界ばかりがデータ収集の場ではありません。図書館の外、オフラインのフィールドには、膨大な経験という領域が広がっています。その経験の現場から、自分の手で得てきた情報を一次情報と言います。

最近の学校でさかんないわゆる「調べ学習」は、ほとんど library survey のことを指しているようです。いまどき情報コンテンツは図書館に行かなくてもネット上にあふれていますから、ネットで情報収集してコピーすれば一丁上がり、のレポートが小学生から大学生までX横行しています。それを研究とは呼びませぬ。(注1) 東大上野ゼミでは、メディアの情報を (イ) キョウにまとめただけのレポートは、決して認めませんでした。その情報は誰に属する情報なのか、一次情報なのか二次情報なのかを、きびしく問いました。

もちろん特定の主題について、誰によって何がどれだけ言われているかを明らかにすることには、B それなりの価値があります。そういうレポートを review essay と呼びますが、しよせんそれだけのことです。世

の中には、目配りのよい review essay を的確にこなす人材がいますが、こういう人は教育課程で長年にわたって、「以下の文章を読んで何字以内にとめなさい」という訓練を受けてきた人なのでしょう。その分野で何が問われていてどこまでが明らかにされているかという review essay は、研究の前段階にすぎません。しよせん、よく勉強したね、という読書レポートの域を出ません。研究論文では、その部分を「先行研究の検討」と呼びます。なぜならあなたの立てた程度の問いは、あなた以前に、あなた以外のひとによって、とくに立てられていると考えるところから、研究は出発するからです。

オリジナルな問いと言っても、まったく誰も立てたことのない問いなんて、めったにありません。ですが、「先行研究の批判的検討」をすることによって、自分の立てた問いのどこまでが解かれており、どこからが解かれていないかがわかるようになります。そこではじめて、自分のオリジナリティが何か、がわかるのです。

情報を消費したり収集したりすることを、インプット（入力）といいます。インプットした情報を加工して生産物にする過程を情報処理 information process と言います。情報処理の「プロセス」は、「加工」でもあり、「過程」でもあります。C 情報生産の最終ゴールは情報生産物をアウトプット（出力）することです。どれだけ情報をインプットしていても（これを博識と言います）、あるいはそれから多くの情報処理を経ていても（これを智慧と言います）、アウトプットしない限り、研究にはなりません。

情報生産者になるには、アウトプットが相手に伝わってなんぼ。なぜなら情報生産とはコミュニケーション（ウ）コウイだからです。情報が相手に伝わらない責任は、もっぱら情報生産者にあります。もし誤解を生むとしたら、その責任ももっぱら情報生産者にあります。その点で研究という情報生産の特徴は、詩や文学のような a を許さない、という点にあります。誤解の余地のない Y 明晰な表現で、ゆるぎのない論理構成のもとで、(エ)コンキョを示して自分の主張で相手を説得する技術……これが論文というアウトプットには求められます。

さて、一次情報はどうしたら手に入れることができるでしょうか。情報には言語情報と非言語情報とがありますが、研究とは言語的生産物です。一次情報は観察、経験、コミュニケーション、対話、インタビュー、アンケート調査、統計等から得ることができますが、最終的に言語的生産物としてアウトプットするためには、すべての情報を言語情報に (オ)ヘンカンしなければなりません。

情報収集 data collection の機会はあるとあらゆるところにあります。日常生活そのものが情報収集の現場であると言っても b ではありません。また二次情報であっても、メディアの言説、手紙、日記、証言、裁判記録等を一次情報として (注2)メタ分析の対象として扱うことも可能です。

研究とは基本、言語情報をインプットし、言語情報を生産物としてアウトプットする情報処理の過程です。学問の世界には、D 身体よりは精神、感情よりは知性のような言語情報を優位に置く序列があります。しかし非言語情報をインプットして、そのまま非言語情報としてアウトプットするやりかただってあってよいかもしれません。たとえば映像から映像へ、あるいはビジュアルな表現やパフォーマンスアートによるアウトプットだって、考えられないわけではありません。わたしは学問を教えてきて、いつも自分のインプットと

アウトプットが言語に²偏重していることを感じてきました。わたしが知っているのは言語的な情報処理のノウハウだけですので、それしか教えることができませんが、世界にはもつと豊かで多様な非言語的な情報処理のインプットとアウトプットのノウハウを知って、それを伝達できる人々がいるに違いありません。それが学問と呼ばれていないだけで。言語を媒体に情報処理をする人々は、自分たちが言語しか扱えないという限界を、わきまえているほうがよいと思います。

最後に学問とは何か、について述べておきましょう。

わたしは学問を、伝達可能な知の共有財、と定義しています。伝達可能ですから、学習することも可能です。学問にはアートや宗教のように秘技や秘教的なところはありませぬ。学ぶとはもともと真似まねぶからきたことば。明晰簡明で、まなぼうとおもえばまねぶことができること、そしてその成果物である情報財は、私有財ではなく公共財になることが目的です。

ですから、わたしは研究者を、アーティスト（芸術家）よりはアルチザン（職人）だと考えています。アーティストにとつては、「ゲーテの作品」とか「ロダンの彫刻」のように固有名が伴うこと、そして他人の模倣でないことが決定的に重要ですが、アルチザンにとつては自分の作品から最終的に固有名が消えること、そしてそれが誰もが利用可能な公共的な財になることが最終的なゴールです。ですから「^{注3}フーコーの言説分析」と呼ぶ代わりに、固有名が落ちてたんに「言説分析」というツールが社会科学の公共財になり、それを発案した人が忘れ去られるということこそ、社会科学者の名誉となることでしょう。

（上野千鶴子『情報生産者になる』による。）³

（注） 1 東大上野ゼミ——東京大学で筆者（上野千鶴子）が指導していたゼミのこと。

2 メタ分析——過去の研究結果などを統合して分析すること。

3 フーコー——ミシェル・フーコー。フランスの哲学者（一九二六—一九八四）。

問1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、

解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

1

 ～

5

(ア) シユウゾウ

1

- ① ゾウシヨを古書店に売却する
- ② シンゾウの鼓動を感じる
- ③ アイゾウの入り混じった心情
- ④ 市民楽団にピアノをキゾウする

(イ) キヨウ

2

- ① 学校生活を通してチキを得る
- ② 弦ガツキで四重奏を演奏する
- ③ その計画はキジヨウの空論だ
- ④ 彼はタキにわたり活躍している

(ウ) コウイ

3

- ① 手続きの代行をイライする
- ② イアツ的な態度をとる
- ③ 職員をイロウするための催し
- ④ 政策を他国のイセイ者に学ぶ

(エ) コンキョ

4

- ① 要求を断固としてキヨヒする
- ② 容疑者が警察にケンキョされる
- ③ ここは外国人キョリユウ地だった
- ④ この論文は彼の説にイキョしている

(オ) ヘンカン

5

- ① 客をカンゲイしようとして宴会を催す
- ② 友人を俳句の会にカンユウする
- ③ 円を外国の通貨にカンサンする
- ④ 証人として裁判所にショウカンされる

問2

空欄

□

□

□

に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の

中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

□

6

- ① ㄱ 努力すれば身につけることができます
- ㄴ 教養とオリジナリテイの両方が欠けている
- ㄷ せめて教養だけでも身につけている
- ② ㄱ 努力すれば身につけることができます
- ㄴ 教養があつてオリジナリテイに欠ける
- ㄷ オリジナリテイがあつて教養に欠ける
- ③ ㄱ 努力だけでは身につけることはできません
- ㄴ 教養があつてオリジナリテイに欠ける
- ㄷ オリジナリテイがあつて教養に欠ける
- ④ ㄱ 努力だけでは身につけることはできません
- ㄴ 教養とオリジナリテイの両方が欠けている
- ㄷ せめてオリジナリテイだけでも身につけている

問3

傍線部 X「横行」、Y「明晰」、Z「偏重」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

□

5

□

9

X 横行

- ① 好ましくないことがはびこること
- ② 横向きに通り抜けること
- ③ 勝手に自分のものにする事
- ④ 勝手気ままで乱暴なこと

□

7

Y 明晰

- ① 明るくほがらかなこと
- ② 明らかではっきりしていること
- ③ 偏りがなく平等であること
- ④ しっかり筋道が通っていること

□

8

Z 偏重

- ① ある一面ばかりを重んじること
- ② 広く世間に知られていること
- ③ 真面目に取り組むこと
- ④ 物事を注意深くとらえること

□

9

問4 傍線部A「それは研究者の一面にすぎません」とあるが、このように筆者がいうのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。
解答番号は 10

- ① 図書館で書物を読んで得られるのは二次情報にすぎず、それとは別に一次情報を得なければ、研究が成り立たないから。
- ② 図書館で書物を読んで得られるのは中古情報にすぎず、それとは別に最新の情報を得なければ、研究が成り立たないから。
- ③ 図書館で書物を読んで得られるのは知識や情報にすぎず、それ以前に自分で思索を重ねる時間がなければ、研究はできないから。
- ④ 図書館で書物を読むのは研究の前段階である情報の収集にすぎず、その後に独自の思索を加えなければ、研究はできないから。

問5 傍線部B「それなりの価値」とあるが、どのような「価値」か。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 11

- ① 教育課程で課せられる訓練に耐えやすくなるという価値。
- ② 読書レポートを作成するにあたっての準備に役立つという価値。
- ③ 自分の研究の主題を決めるための勉強になるという価値。
- ④ 自分のオリジナリティを確認することに役立つという価値。

問6 傍線部C「情報生産」に関する筆者の考えの説明として適当でないものを、次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 12

- ① 研究という情報生産においては、情報生産者が情報を正しく伝える責任を有する。
- ② 論文というものは、二つ以上存在する情報生産の形態のうちの一つである。
- ③ 情報生産とはコミュニケーションであるから、情報の解釈が重要な要素となる。
- ④ 情報生産のアウトプットの一種である論文には、情報を正しく伝える技術が要求される。

問7

空欄

a · b

に入る言葉として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1

つずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

13 · 14

13

a

① 多義性

② 具象性

③ 一元性

④ 類似性

14

b

① 気が気

② 十分

③ やぶさか

④ 過言

問8

傍線部D「身体よりは精神、感情よりは知性のような言語情報を優位に置く序列」とあるが、次のAは、これについて述べたものである。筆者の考えに合致するものをすべて選んだ組み合わせとして最も適当なものを、あとの①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

15

- Ⓐ メディアの言説や手紙、日記などの二次情報を、一次情報として扱うための要件の一つである。
- Ⓑ 学問における研究というものが持っている基本的な性質から生じてきたものだと考えられる。
- Ⓒ 学問における研究というものが非言語的情報をその対象としないということの原因になっている。
- Ⓓ 非言語的な情報処理のインプットとアウトプットを学問的に研究するための一つの足場となる。
- Ⓔ 現在の学問的研究がすべてのものを対象にできないということを示している。

①

Ⓐ · Ⓑ · Ⓒ

②

Ⓑ · Ⓓ · Ⓔ

③

Ⓐ · Ⓑ · Ⓒ · Ⓓ · Ⓔ

④

Ⓑ · Ⓒ · Ⓓ · Ⓔ · Ⓕ

問9 本文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 16

- ① これまでまったく誰も立てたことのない問いを立てることではじめて、研究における自分のオリジナリティが何かがわかる。
- ② 研究者は芸術家よりは職人にたとえられる存在であるために、学問は誰か個人の私有財産であってはならない。
- ③ 自分が立てた問いがオリジナルかどうかを判断するためには、すでにある情報の集合についての知識が必要である。
- ④ 非言語的な情報処理のやりとりを対象とする研究も、学問である以上は言語的な情報生産者によって行われる。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

2019年9月20日、ニューヨーク市役所前には、30万人を超える人々が集まり、マンハッタン島最南端のバッテリー・パークまで行進した。その多くは、A世界を食いつぶす現役世代に対して警告を発しよう
と集まった、10代の青少年たちであった。彼らはこの行動の名前を「気候ストライキ」と名づけた。ニュー
ヨーク市教育委員会は、気候ストライキに参加するなら、この日は学校を休んでも構わない、と特別な決定
を行い、声を上げる将来世代にエールを送った。この日、世界中でストライキに参加した人々は、青少年層
を中心に400万人にも達した。

気候変動の影響は、世界中で如実に表れている。気象庁は2018年8月の異常気象分析検討会において、
同年の (ア) ケンチヨな豪雨と高温の背景には地球温暖化の影響があったという見解を公表している。「平
成30年7月豪雨」と「平成30年台風第21号」を合わせた2018年の西日本大水害の死者は277名、同
年の水害被害額は全国で1兆3500億円と算出されている。また、2019年に千葉県を襲った台風15号
と、東日本一帯に巨大な被害を与えた台風19号など、同年の水害による死者は108名、被害額は2018
年には及ばないものの、この二つの台風だけで4100億円に及んでいる。日本は、先進国の中では最も気
候変動に脆弱な国である。他の先進国で、水災害による死者が例年100人を超す国はほとんどない。

このように、日本だけを見ても、気候変動の被害は大きく、多くの人々が直接影響を受けている。a、
気候変動の最大の問題は、毎年これだけの被害を受けており、また、今後放置した場合にどうなるか、とい
った予測が立っているにもかかわらず、現在までのところ、これに対する積極的な取り組みが十分でない
ということである。日本は、(注1) パリ協定に定められた国別約束で、2030年の二酸化炭素排出削減目標と
して「2013年比で26%削減」との数値目標を掲げているが、これだけでは、パリ協定が目指す、世界の
平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5⁵〜2度未満に抑えるという目標を達成できないとの評価もある。石
炭火力発電については、日本政府の姿勢に対して国内外から厳しく批判する声が上がっている。日本から視
点を世界に転じてみても、b 二酸化炭素排出量は増加しており、各国の国別約束の総和を見ても、本来
パリ協定が目指す目標に照らして、290億〜320億トンのギャップが生じてしまう。さらには、世界第
2位の排出国である米国は、パリ協定から離脱してしまった。これでは、せっかくパリ協定があり、毎年C
OPを開催しているにもかかわらず、世界は地球の限界に向けてまっしぐらに進んでいると言われても仕方
がないであろう。

「持続不能」をもたらすものは、「地球の限界」だけではない。(注2) SDGsの根幹をなすもう一本の柱
は、「貧困や格差の解消」であるが、これは「持続可能な世界を、持続可能な世界に変える」という課題と
矛盾しない。というのは、「貧困」と「格差」は、人類社会が手にしている資源の配分が、きわめて不正
かつ不均等、非効率に行われているということの (イ) ショウサだからである。SDGsは「貧困・格差の
是正」を柱の一つにすることで、現代の人類社会における資源の配分が公正かつ均等、効率的に行われるよ
うにすることを目指しているわけである。

英国に由来する国際NGO、^(注3) オックスファムは、毎年1月にスイスのダボスで開催されるダボス会議（世界経済フォーラム）に向けて、世界における格差の状況について発表を行っている。2020年の報告書では、以下のことが告発されている。「世界で最も富裕な1%が所有する資産は、下から数えて69億人目までの人が所有する資産の2倍以上に及んでいる」「世界の22人の最富裕層が所有している資産は、アフリカの女性全員が所有している資産よりも多い」。

B 貧困や格差は、公正な競争の結果として生じているのではない。むしろ、国境をまたにかけて活動するトランスナショナル企業や、同じく国境を越えて活動する富裕層などにしか使えない、^(注4) タックス・ヘイブンなどの仕組みを独占的に使うことで、効果的な租税節約を行い、ますます富裕となる。一方、このようにして収益構造がグローバル化され、企業が収益を上げた国に税金という形で還元することがなくなるので、各国の税収はやせ細る結果となる。社会保障や社会開発への投資など、**1**の仕組みは何らグローバル化されておらず、各国民国家に任されており、その原資は、基本的には税収である。税収が下がれば、これまでできていた**1**もできなくなり、貧富の差がますます開くうえ、実際に生活に困窮した状況にある人々には、どんな救済の手も行き届かず、**X**みすみす見殺しになる、ということが多発するわけである。

このように、不正と、国境を越えた欲望の生々しい力によって、資源が不均等、非効率に配分されている社会は、気候変動などの「地球の限界」に関わる危機や、急性感染症などその他のグローバルな危機に対して、弾力性や回復力が十分でない、**C**脆弱性を抱えた社会である。逆に、社会の側で、分配の不正を解消し、より公正、均等、効率的に資源配分が行われるようになれば、気候変動をはじめとする危機への耐性¹⁰もつき、レジリエンス、^{すなわち}即ち、弾力性と回復力をもって、危機への対応をすることができる。持続可能な社会を作る前提として、まず、貧困・格差をできる限りなくし、分配の不正を排除して、資源配分において失敗がない社会を形作ろう、それでこそ、持続可能性の危機に対して、弾力性をもって対応できる……これは、SDGsの示す**11**・統合的な考え方の一端である。

2019年9月、国連事務総長のリードの下、2016年のSDGs実施開始以来最初の「SDGサミット」が行われた。このSDGサミットは、SDGsの進捗状況の評価に関して、毎年7月に開催されている**(ウ)**カクリョウ級のハイレベル政治フォーラムの首脳会議版という位置づけであり、4年に一回開催される。首脳会議だけあって、ここでは、SDGsの進捗全体について、首脳級で評価に合意をしようとして、「政治宣言」を出すのである。

今回のSDGサミットで採択された政治宣言の文面は、楽観的な記述は多いものの、**(エ)**カンジンなどところで、現在のSDGsの進展について、厳しく評価している。宣言では、SDGsの進捗の遅さを懸念し、脆弱性が高いままの状態にあることに失望を表明している。国内、国家間で、富や収入を得る機会の不平等が拡大しており、飢餓人口が増え、ジェンダー平等実現へのスピードも遅い。このままでは、「貧困をなくす」ことに失敗するのではないか。宣言は、気候変動による災害や環境汚染が人道面において破壊的な結果をもたらす可能性にも言及する。

国連自らが、SDGs達成について「黄信号」をなげかけ、とにかく今後の10年で取り返す、といわんば

かりに、Yなりふり構わず、2030年までの「行動の10年」を提起している。とにかく取り組みを加速化することを約束する、としたうえで、政治宣言の最後のパラグラフは、次のように述べる。「早急な変化は可能であり、目標は達成可能な範囲内にある」。

私たちは今ますます、のっぴきならないところまで追い込まれている。SDGsの「変革の旅」には、もはや他の選択肢はない。やめることも、後戻りすることもできない。SDGsという羅針盤を手に、D「地球一個分」の人類社会の実現、オ「ツまない社会・経済・環境の実現を目指して、足取りを加速化させていくよりほかには、将来世代はおるか、十数年後を生きる現役世代の未来もおぼつかないのである。

(南 博、稲場雅紀『SDGs——危機の時代の羅針盤』による。)

(注) 1 パリ協定——2020年以降の地球温暖化対策についての国際的な枠組み。

2 SDGs——持続可能な開発目標。2015年に加盟国の全員一致で採択され、2030年までの目標達成を目指している。

3 オックスファム——貧困と不正を根絶するための支援活動を90カ国以上で展開する団体。

4 タックス・ヘイブン——外国企業に対して課税率が極めて低い国や地域。

問1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、
解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 17 ～ 21

(ア) ケン|チョ
17

- ① 問題がケン|ザイ化する
- ② ケン|リを行使する
- ③ 食費をケン|ヤクする
- ④ 役職をケン|ニンする

(イ) ショウ|サ
18

- ① 大臣の更迭をシ|サする
- ② 生徒会長をホ|サする
- ③ サ|サイなことでもめる
- ④ サ|セツすると浜に出る

(ウ) カクリ|ヨウ
19

- ① リ|ヨウヒを支払う
- ② ドウ|リヨウに出会う
- ③ 期間がマン|リヨウする
- ④ シン|リヨウ所で働く医師

(エ) カン|ジン
20

- ① 店のカン|バンを出す
- ② 書店でシュウ|カン誌を買う
- ③ 要求をカン|テツする
- ④ 事前準備がカン|ヨウだ

(オ) ツ|まない
21

- ① コテ|キ隊が行進する
- ② スイ|テキがしたたる
- ③ 問題点をシ|テキする
- ④ テ|キミカタが入り乱れる

問2 空欄 a ・ b に入る言葉として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は ・

- | | |
|----|----|
| 23 | 22 |
| b | a |
- ① ところが ② また ③ そうして ④ むしろ
① すっかり ② 一方では ③ せっかく ④ いまだに

問3 空欄 ㄱ ・ ㄴ に入る言葉として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は ・

- | | |
|----|----|
| 25 | 24 |
| ㄹ | ㄱ |
- ① 再開発 ② 再吟味 ③ 再分割 ④ 再分配
① 組織的 ② 包摂的 ③ 機能的 ④ 反射的

問4 傍線部 X 「みすみす」、Y 「なりふり構わず」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は ・

- X みすみす ① またたく間に
 ② 見ているうちに
③ ミスを承知で
④ わかっていながら

- Y なりふり構わず ① 体裁などこだわらず
 ② 評価など気にせず
③ 損得など考えず
④ 身分など忘れて

問5 傍線部 A 「世界を食いつぶす」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つを選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 危機からの回復力を失い、恐怖が世界を支配するということ。
② 現役世代が、地球を役に立たない持続不能な世界にすること。
③ 世界中の食物を将来世代から奪い、現役世代が独占すること。
④ 気候変動が人間の欲望を刺激し犯罪を多発させるということ。

問6 傍線部B「貧困や格差」が生じている原因はどこにあるか。その説明として最も適当なものを、次の

①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

29

- ① 企業などの競争についてはまだ調整中で企業間の公正な競争が行われていないこと。
- ② タックス・ヘイブンなどの仕組みを独占し、租税の節約を行う企業などがあること。
- ③ 収益構造が固定化・形式化し、税金として国に還元することがなくなっていること。
- ④ 社会開発への投資などの比率が定められ、国家予算が縮小されてしまっていること。

問7 傍線部C「脆弱性を抱えた社会」とあるが、どのような社会か。その説明として適当でないものを、

次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

30

- ① 気候変動の影響による自然災害などの被害に、十分な対応をすることができない社会。
- ② 社会保障や社会開発への投資などの仕組みがグローバル化されていない社会。
- ③ 飢餓に苦しむ人たちが増え、ジェンダー平等の実現がなかなか進んでいない社会。
- ④ 国境を越えて活動する企業などが使う仕組みを、企業が独占的に使えなくなった社会。

問8 傍線部D「地球一個分」の人類社会の実現」のためには、どうしなければならぬか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

31

- ① 世界第2位の二酸化炭素排出国である米国をパリ協定に復帰させ、地球の限界を克服するためのリーダーとする。
- ② 将来世代の自然に対する認識と教養を深め、地球の限界から脱出するための生産と消費の関係に関する教育を充実する。
- ③ 貧困や格差のない社会を作るために、人間の生々しい欲望を抑制するような倫理を身につけ、人間の社会の永続性を高める。
- ④ 地球の限界を克服するために二酸化炭素排出量を抑制し、貧困と格差の克服のために資源の配分を公正にする。

問9

本文の内容に合致するものを、次の①～④の中から1つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

32

- ① 日本は先進国の中では最も気候変動に脆弱な国であり、それゆえ2030年までの二酸化炭素排出削減の目標を定めており、これを達成すると世界の平均気温上昇を産業革命以前の水準に戻すことも不可能ではないとされる。
- ② 国際NGOは2020年に「世界の22人の最富裕層が所有している資産は、アフリカの女性全員が所有している資産よりも多い」と報告しているが、これはアフリカは天然資源が極めて少ない国であることを示すものである。
- ③ 「貧困」と「格差」は、人類社会が手にする資源の配分が、極めて不公平、非効率的に行われていることなどから生じ、「貧困や格差の解消」は「持続可能な世界を、持続可能な世界に変える」という課題と矛盾しない。
- ④ 世界は地球の限界に向けてまっしぐらに進んでいると言われるが、これはSDGsが述べるように落ち着いて対処さえすれば「早急な変化は可能であり、目標は達成可能な範囲内にある」と考えられしがる。